

心情変化の比較による読みの深まり【比較する】 スケールチャート

【校種・学年】小学校第5学年

【教科・領域】国語科

【実践の概要】

- 1 単元名 「七 山場を見つけて交流しよう」～『大造じいさんとがん』
- 2 単元の目標 残雪に対する大造じいさんの心情の変化を、心情表現に気をつけながら読んでいる。

3 本時の実際

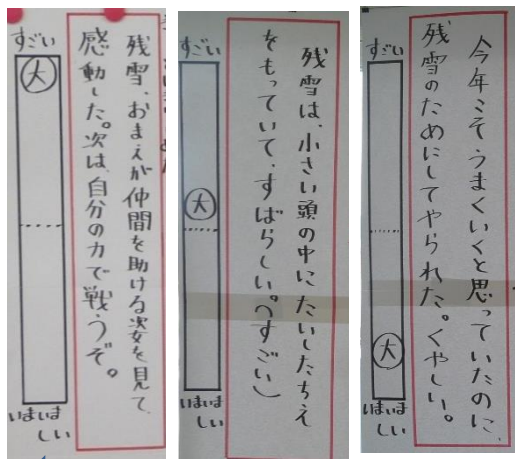
(1) 本時の目標

大造じいさんが残雪をうたなかったときの心情を、叙述に即して読み取ることができる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	1. 全体の学習課題・前時までの学習想起をする。 2. 三の場面後半を読む。 3. 本時の課題を提示する。 大造じいさんが残雪をうたなかったときの心情は？	
展開	4. 3の場面後半の大造じいさんの心情を読み取る。 5. 自分の考えを交流する。 6. 全体で交流する。	
終末	7. 大造じいさんが残雪をうたなかったときの心情をまとめる。 <b>8. 心情メーターを考える。</b> ○「今回の大造じいさんの心情メーターは、前回と比べてどうなったでしょうか？」 ○「一番上になったと思います！なぜなら…。」	視点2（3） 「思考を表現に置き換える」

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○スケールチャートを心情メーターとして使ったことで、物語が進む度に大造じいさんの心情がどのように変わっていくのかをわかりやすく比較することができた。比較した際には、「なぜその位置になるのか」を問うことで、自然と根拠を示しながら説明することができた。

■ AかBのどちらに近くなるという場合以外では使えないので、使用できる場面は限られてくる。(複数の心情があるとまとまりません…。)